

ともに歩む



新発田市立藤塚小学校
人権教育、同和教育便り
令和3年3月15日 No.4

人権学習に取り組みました

今年度は、人権、同和教育にかかわる内容で、全学級で研究授業を行いました。3年生と6年生は前号で紹介しました。今回の第4号では、1・2・4・5年生の実践を紹介します。

5年生

題材名「宙に消えたありがとう」

【授業の様子】

障がい者に対する差別資料を取り上げた人権学習をしました。授業では、脳性麻痺により車椅子で生活する方とその方を介助する主人公が駅の階段を上るために助けを求めているが、そこにやってきた2人のサラリーマン風のおじさんは、介助する主人公としか話そうとしていない場面を取り上げました。初めは「助けてくれているから優しい人たちだ。」「周りの人たちは避けているのに、すぐに手伝いに来てくれたからよい人たちだ。」と児童たちは考えていました。資料の後半を読み、車椅子で生活する方の気持ちを考えた時に、「悲しい。」「同じ人間なのに比べられた。」

と2人のサラリーマン風のおじさんは一見親切に思われているが、障がい者のことを理解しようとしていないのがよくないことに気づきました。

今までの自分たちの気持ちを振り返り、これからは障がい者の気持ちに寄り添っていこうと意欲を高めることができた授業になりました。



【授業後の児童の振り返り】

- ・今日の授業で、困っている人やゆっくりでしか話せない人がいたら、助けたり、しっかり聞いてあげたりすることが大切だと分かりました。周りの人にも知ってもらえたらよいと思いました。
- ・今までは、運んでいる人だけが大変だと思っていたけど、運ばれている人も大変だから協力しようと思いました。
- ・今までは、手伝っている人だけが大変だと思っていたけど、障がい者も大変な思いをしているのだということが分かったので、困っていたら声をかけたいと思いました。